

平成27年5月20日に総務文教委員会・産業水道委員会連合調査会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

部署の配置について

～内容～

部署の配置について、産業部を山手出張所へ、建設部を西庁舎2階へ、教育部門とこども課を西庁舎1階へ移転することについて、当局から説明があり、調査を行いました。

～質疑～

問：産業部が山手出張所に移転することにより、ワンストップにならなくなるようなデメリットはないか。

答：土木担当員に関しては、農林部門の修理工事は地域応援課で、また、農林関係の申請で所得証明が必要なときは山手出張所で対応できるが、再度精査していきたい。

問：移転に伴う費用はどのくらいかかるのか。

答：電話、パソコンの移設に関する費用が200万円、山手出張所の電気関係、空調関係は実際使用しないと分からないため見積りまでは行っていない。

問：7月1日に移転するのは早急すぎないか。

答：確かに早急な点はある。山手出張所の建物の修繕についても全てが把握できているわけではない。これから精査していかなければならないと考えている。

問：山手地域の活性化の効果はあるが、山手出張所の改修費も厳密には把握できておらず、完全に準備が整ってから移転すべきと考えるがどうか。

答：こども夢づくり課とこども課をワンストップにすること、また、山手地域の活性化を目的にしている。総合的にどれくらい事業費がかかる等再度検討してお知らせしたい。